日進市高等学校等修学助成金制度のお知らせ

●目的

教育の機会均等および人材の育成に寄与するため、経済的理由により高等学校等の修学が困難な状況にある生徒を対象に、修学に必要な資金を助成する制度です。

●対象者

次の(1)から(3)までのすべてに該当する人が対象となります。

(1) 高等学校等に在学する人の保護者等

※高等学校等とは学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する高等学校、中等教育学校（後期課程に限る。）、高等専門学校及び専修学校（修業年限が3年以上の高等課程に限る。）をいいます。

(2) 保護者等が、助成金の交付を受けようとする年度の5月1日に日進市に住所を有する人

(3) 経済的理由により修学困難であり、保護者等の合算所得が以下の区分に該当する人

区分	年収目安	所得基準
Ⅰ	生活保護非課税	生活保護法(昭和25年法律第144号)による被保護世帯に属する者又は当該年度の市町村民税所得割額が非課税の者
Ⅱ	380万円未満	Ⅰに該当する場合を除き、当該年度の課税所得額(課税標準額)に 100分の 6 を乗じた額から、市町村民税の調整控除額(政令指定都市は当該額の4分の3を乗じた額)を控除した額の合算が51,300円未満の者

●修学助成金の額

所得区分	助成金の額(年額※2回に分割して交付)	
	国公立高等学校	私立高等学校
Ⅰ	23,000円	62,000円
Ⅱ	41,000円	59,000円

●交付対象期間

在籍する学校の正規の修学期間を修了するまで。

※高等専門学校及び専修学校は第3学年まで　※年度ごとに申請が必要となります

●申請手続き

次の(1)～(3)の必要書類を日進市教育委員会に提出してください。

なお、WEB申し込みも可能です。詳細はホームページをご確認ください。

【必要書類】

(1)日進市高等学校等修学助成金交付申請書兼振込口座指定書（第1号様式）

※市役所2階学習政策課窓口、または市ホームページからダウンロードできます。

https://www.city.nisshin.lg.jp/department/shogai/gakushu/5/2/3/2489.html

ホームページ

(2)在学証明書

(3)通帳等（申請者名義）の写し

（注）令和7年1月1日時点で市内に保護者の住民登録がない場合は、別途、課税証明書の提出が必要となります。

（注）課税情報が確認できない場合は、助成対象となりません。

●申請期間

令和7年5月1日(木)から6月30日(月)まで　※申請期間後は申請できません。

土日、祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで

《問い合わせ先・提出先》　日進市教育委員会　学習政策課
〒470-0192 日進市蟹甲町池下268番地
電話：0561-73-4169　電子メール：gakushu@city.nisshin.lg.jp

【参考】交付対象の確認方法について

助成対象かどうかの判断は、毎年６月頃にお勤め先から配付される住民税決定通知書、または税務課で発行可能な所得証明書（課税証明書）にて確認ができます。

〔算出式〕

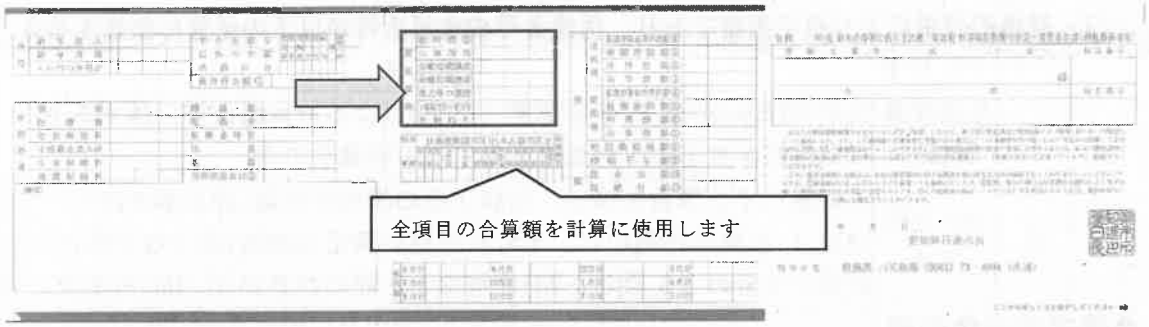
所得判定額＝①市町村民税の課税標準額×６％－②市町村民税の調整控除の額

①市町村民税の課税標準額の確認方法

ａまたはｂの方法で確認してください。

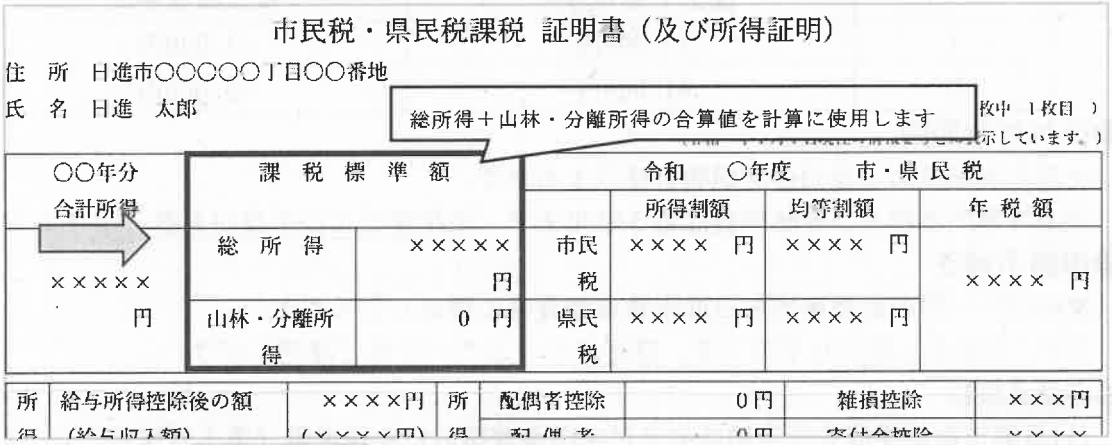
ａ．住民税決定通知書から確認する方法

市町村民税の課税標準額「課税標準」と記載のある欄の全項目の合算値を確認します。



ｂ．所得証明書（課税証明書）から確認する方法

市町村民税の課税標準額「課税標準額」と記載のある欄の項目の合算値を確認します。



市民税・県民税課税 証明書（及び所得証明）

住　所　日進市○○○○○丁目○○番地

氏　名　日進　太郎

総所得＋山林・分離所得の合算値を計算に使用します

○○年分合計所得	課税標準額		令和　○年度　市・県民税	所得割額	均等割額	年税額
×××××円	総所得	×××××円	市民税	××××円	××××円	××××円
	山林・分離所得	0円	県民税	××××円	××××円	

所得	給与所得控除後の額（給与収入額）	××××円（××××円）	所得	配偶者控除	0円	雑損控除	×××円

②市町村民税の調整控除の額の確認方法

住民税決定通知書及び所得証明書（課税証明書）には記載がないため、直接税務課へお問い合わせください。

なお、一般的なご家庭の調整控除の額は 1,500 円前後となる場合が多数です。

〔注意事項〕

所得基準の判定には、令和７年度に確定した課税情報を基に行います（６月頃に確定）。５月に申請予定の方は、昨年度の課税情報を参考に申請していただきますが、判定は最新の課税情報にて行いますので、ご了承ください。※令和７年１月１日時点で市内に保護者の住民登録がある場合は、追加書類等の提出は不要です。